

【全国実施分】学力調査結果の分析による具体的改善策 小学校6年

(咸宜) 小学校

1 教科に関する調査

《平均正答率全国比》

R 6 年度（昨年度）結果		R 7 年度（今年度）結果	
国語	国語	算数	算数
99	106		
算数	算数		
103	109	理科	
		105	

全国平均正答率を下回った問題（平均正答率の低い問題）		考えられる要因
国語	<p>① (知識・技能) 情報の扱い方に関する事項 【話し合いの記録】の書き表し方を説明したものとして適切なものを選択する。</p> <p>② (思考・判断・表現) 書くこと 【ちらし】の文章の構成の工夫を説明したものとして適切なものを選択する。</p>	<p>① 話し合いやインタビューによる情報について、語句と語句との関係を図に表す経験が不足している。</p> <p>② 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくりたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができない。</p>
算数	<p>① (知識・技能) 数と計算・データの活用 2022年の全国のブロックの出荷量が2002年の全国のブロックの出荷量の約何倍かを、棒グラフから読み取って選ぶ。</p> <p>② (思考・判断・表現) 数と計算 示された資料から、必要な情報を選び、ピーマン1個とブロック4個の重さを求める式と答えを書く。</p>	<p>① 問題の文章をよく読んでいないため、2002年のグラフの数値だけを読み取り誤答していると考えられる。</p> <p>② 数量の関係を式に表すために、文章やイラスト、数値を含む多くの資料の中から、必要な情報を選ぶことができない。</p>
理科	<p>① (思考・判断・表現) 「生命」を柱とする領域 レタスの種子の発芽の結果から、てるみさんの気づきをもとに、見出した問題について書く。</p> <p>② (知識・技能) 「地球」を柱とする領域 水が陸から海へ流れいくことについて、水の行方と関連付けているものを選ぶ。</p>	<p>① 学習したことを、その他の場面にあてはめ、新たな問題をつくり出すことができない。</p> <p>② イメージマップを使った予想やまとめの経験が不足している。</p>

2 児童質問調査

※肯定的回答の割合（「学びに向かう力」「主体的・対話的で深い学び」に関連）

質問事項		R 6 年度結果	R 7 年度結果
教科の勉強は好きですか。	国語	67%	77%
	算数	70%	61%
	理科	95%	96%
	英語	85%	
教科の授業の内容はよく分かりますか。	国語	84%	93%
	算数	81%	85%
	理科		96%
	英語	85%	
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方へ気付いたりすることができますか。		89%	93%

3 具体的改善策

この取組を組織的に行えば学力が向上するのではないかという仮説を立て検証する。

① 9月から取り組む（継続する）学校の組織的な学力向上の取組の改善策（焦点化・重点化1～2点）

- 毎時間のふりかえりで自己・他者評価を行ったり、自己調整したりする時間を保障し、メタ認知の向上を図る。
- 学期に1単元以上「自立した学習者」を生む授業実践を行い、学び方を選んだり自分で計画を立てたりする経験をさせる。

↑

（全職員で協議し、共通理解したものを入力）

※県調査で記入した改善策と同様でもよいが、必ず全教職員で再度共通理解をする。

② 9月から取り組む国語・算数・理科における授業改善・学習定着状況の把握・家庭学習・補充学習の改善策

	授業改善	学習定着状況の把握	家庭学習・補充学習
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○内容を整理する際に、表や図に表したり、ロイロノートの思考ツールを使ったりして、いろいろなまとめ方に取り組ませる。 ○説明文の構造図を作らせたり、作文の文章校正を作らせたりして、文全体を見通して考える活動を仕組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業中のノート・発言・ロイロノート・練習問題から思考の流れや理解の状況を確認する。 ○授業の終末のふりかえりを文章で記述することの習慣化。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ドリルタイムを利用して、苦手分野の練習問題や活用問題、条件作文に取り組ませる。 ○家庭学習（漢字学習・週1回のAIドリル・週末プリント）で基礎基本の定着を図る。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○何を求めるといけないのかや答えに到達するまでの手順や見通しを考えさせてから問題に取り組ませる。 ○「算数たまてばこ」「読み取る力を伸ばそう」など、活用の力を問う課題に多く取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業中のノート・発言・ロイロノート・練習問題から思考の流れや理解の状況を確認する。 ○授業中の練習問題や宿題の添削を通し、誰が何を苦手としているのか把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ドリルタイムを利用して、苦手分野の練習問題や活用問題、条件作文に取り組ませる。 ○家庭学習（漢字学習・週1回のAIドリル・週末プリント）で基礎基本の定着を図る。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ○観察や実験の結果を図など、いろいろな方法でまとめさせる。 ○あいあいタイムを活用し、自分で課題を設定するなどの経験をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業中のノート・発言・ロイロノートから思考の流れや理解の状況を確認する。 ○授業の終末のふりかえりを文章で記述することの習慣化。 	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭学習（週1回のAIドリル・週末プリント）で基礎基本の定着を図る。

4 12月日田市実施分学力調査（令和7年12月）の目標値

学習到達度調査 《平均正答率全国比》

12月日田市実施分学力調査（令和7年12月）目標値		
国語	算数	理科
107	109	106

5 2学期末児童アンケート（令和7年12月）の目標値

各学校実施分 児童アンケート 《肯定的回答の割合》

質問事項	令和7年12月 目標
教科の勉強は好きですか。	国語 78%
	社会 63%
	算数 62%
	理科 97%
	外国語 87%
教科の授業の内容はよく分かりますか。	国語 94%
	社会 85%
	算数 86%
	理科 97%
	外国語 84%

※4件法(とても好き・好き・あまり好きではない・まったく好きではない)で、肯定的2項目の割合

※4件法(よく分かっている・だいたい分かっている・あまり分かっていない・まったく分かっていない)で、肯定的2項目の割合